

M エナジー!

第10号

宮崎energy!

energyには、気力、元気、力、勢い、精力という意味があります。宮崎の高校生のエナジーをこの便りで発信していきます!



発行 宮崎県高体連
発行所 高体連事務局

問い合わせ
宮崎県高等学校体育連盟事務局
〒880-0926 宮崎市月見ヶ丘5-2-1
TEL 0985(51)4109
FAX 0985(51)4298
E-mail info@miyazaki-koutairen.com

印刷
株式会社エスアイエス

平成31年インターハイがやってくる!!

3年後の、平成31年(2019)に、南部九州総体が、鹿児島、熊本、沖縄、宮崎の4県で開催されます。宮崎県では、今から24年前の平成4年(1992)以来の開催となります。実は、インターハイは、平成22年まで、一つの県を中心に開催されてきましたが、平成23年の東北総体から、4〜5県で競技を割り振り、分散する形で大会を運営しています。さて、31年の南部九州総体は、開会式を鹿児島県で、宮崎県では、**バレーボール、ソフトテニス、ソフトボール、弓道、テニス、登山、ボクシング、ホッケー、少林寺拳法**の9競技が開催されます。中学生の皆さん、3年後、あなたが、地元宮崎で!南九州の地で!大活躍しているかもしれません!!

平成23年	東北総体
平成24年	北信越総体
平成25年	北部九州総体
平成26年	南関東総体
平成27年	近畿総体
平成28年	中国総体
平成29年	南東北総体
平成30年	東海総体
平成31年	南部九州総体

Topics

リオデジャネイロパラリンピックに、みなみのかぜ支援学校の奥松美恵子先生が陸上コーチとして参加されました。

インクルーシブを受けてリオパラへ

今回、教員でありながらリオパラリンピック陸上コーチとして貴重な経験をさせて頂きましたので、3つ報告させていただきます。皆さんは、各大会を勝ち上がり、県、九州、日本の頂点を目指し日々努力されていることと思います。その頂点であるオリンピック、パラリンピックでは、何を目指すか?メダル獲得、上位入賞することはもちろんですが、私が一番感じたことは、各国の代表選手は「人」としても素晴らしい人が多かった事です。強い人ほど、笑顔が多く、周囲に気配りのできる選手でした。パラリンピックの選手は、先天的の病気や、事故で人生のどん底から、這い上がってきた人たちがです。妥協しない点や、精神面の強さを日常生活の中でも考えさせられました。

陸上競技は約50名を超える大人数で直前合宿を含め、約1か月の集団生活でした。4人一部屋の中で、周囲と協調していく事も大切ですが、自分の試合に向けたピーキング、試合が終わっても周囲のことを考えて行動できる。周囲に流されず、自分をしっかりと持っている人でなければなりません。人間力を磨くことが「最大の強さ」だと感じました。

次に、部活動や勉強をしていることが、当たり前だと感じている人が多いと思いますが、実はとてもありがたいことに気付いてほしいです。競技の最高峰である、オリンピック、パラリンピックとは反対に、まだスポーツを当たり前にできる環境が整っていない国、地域がたくさんあります。いろいろな家庭環境があり、靴1足購入する事が困難な場合もあります。部活動に必要なものを使うとき、感謝して使っていますか?運動場や、競技場があるのが当たり前だと感じていませんか?厳しい環境の中でも、スポーツを通して日々努力している人がたくさんいることを忘れてはいけません。今、支援学校は新人駅伝大会に向け、合同チームを作り大会参加を目指しています。数々の問題を抱えていますが、みんなが知恵を出し合って、わずかな練習時間、場所を頑張っています。最後は、今回直前合宿を宮崎県で実施し、宮崎工業高校の長距離の選手と共に練習をしました。本番を想定した練習を行い、充実した内容で、結果は2名とも入賞しました。それ以外にも、「めざせパラリンピック記録会」等で、宮崎南高校陸上部や日章学園・宮崎農業高校ボランティア部の皆さん方が障がい者スポーツに協力していただいています。これからの時代は障がい者だから、健常者だからではなく、共に競い合う場が必要な時代になっていきます。今年度、高体連に正式加盟した特別支援学校が増えました。これもまさに、インクルーシブ教育です。10年後の宮崎国体、全国障がい者スポーツ大会を通過点として、沢山の方々に障がい者を理解していただき、共に競い合い、学び合う機会が増えていくことを期待しています。



応援風景



リオ本番レース



リオ直前合宿 in 宮崎



高校総体



インクルーシブの一場面



練習シューズ(学校)



木の義足



両足切断の選手

高文連って何?

高等学校文化連盟には音楽・舞台系の合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、マ칭・バンド・バント・ワグ、日本音楽、演劇、郷土芸能、吟詠剣詩舞の8部門、展示系は美術、書道、写真の3部門、競技系は百人一首、囲碁、将棋の3部門、発表や活動を行う国際・ボランティア、放送、弁論、文芸、新聞、自然科学の6部門で、合計20の専門部があり活動しています。この部門に加え、秋に行われる総合文化祭では、生徒会交流部門、ダンス部門も加わり、全22部門で盛大な高校生による文化の祭典を県内3地区を巡回して開催しています。

高校総体の総合開会式では、合唱、吹奏楽専門部も協力して、大会に華を添えています。



高文連マスコット ハニア

エナジー

宮崎工業高等学校

ここでは、県下の高校で面白い活動をしている学校・部活動を紹介します!!

【部活動紹介】

運動部19部、文化部7部、工業技術部8部、同好会3 計37部
☆競技力強化推進校・指定校 陸上部、レスリング部、柔道部
☆競技力強化育成校 水球部

おもな部活動成績(平成27・28年度)

陸上部 ※県大会ではトラック・フィールドとも1位の生徒が多い

全国高校総体...男子2000m5位、男子4x100mR2位、男子4x400mR8位(H28)

国体...女子ハンマー投げ優勝、男子400mH8位(H27)、男子100m4位(H28)

レスリング部

県高校総体学校対抗戦優勝(H27) 55kg級、60kg級、74kg級優勝

県新人大会学校対抗戦優勝(H27)

国体...少年男子グレコローマスタイル120kg級3位(H28)

水球部

九州新人大会3位(H28)、九州高校総体3位(H28)、九州ブロック大会2位(H28)

全国高校総体...22年ぶり出場(H28)、国体...23年ぶり出場(H28)

ラグビー部

県新人大会3位(H27)、県高校総体3位(H27)、九州10人制大会準優勝(H27)、県1年生大会7人制優勝(H27)

カヌー部

県新人大会カヌーアンペア優勝(H28)

バレー部

県新人大会準優勝(H27)、県1年生大会優勝(H27)

バスケットボール部

県新人大会3位(H27)、県高校総体3位(H27)



レスリング部



水球部



ラグビー部



陸上部



バスケットボール部